

志賀原子力発電所2号機 原子炉内の清掃・確認結果について

平成21年9月10日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所2号機（第2回定期検査を実施中）において、漏えいが確認された燃料棒に微細な異物（約0.2mm×約10mm）1本が確認されたことから、原子炉内の清掃を実施することとしました。（8月12日お知らせ済み）

また、使用済燃料貯蔵プールへ移動した燃料の上部に布（約20cm×約30cm）1枚が発見されたことから、上記の原子炉内の清掃にあわせて原子炉内を確認することとしました。（8月18日お知らせ済み）

このたび、燃料漏えいにかかる原子炉内の清掃が終了しましたのでお知らせいたします。また、布の発見にかかる原子炉内の確認も終了し、新たな布などの異物がないことを確認しました。

なお、布の発見について、当初は布を誤って落下させたものとしていましたが、その後の調査の結果、今回の定期検査において原子炉につながる系統の弁の点検時に使用した布が弁内に残され、点検後の通水に伴い、原子炉内に流入したものと推定しました。

今後、弁などの組み立て等にあたっては、必要に応じ、ファイバースコープを用いて弁などの内部を確認する等により、異物混入防止に努めてまいります。

以 上